

マス商事

マス商事は、07年に

中国の深圳と蘇州に事

業拠点を設立。SMT

設備から産業用ロボット

まで、生産ラインの

システム提案、販売、

メンテナンス、サポー

トの専門商社として中

国での事業を拡大して

いる。

中国の拠点は、総升

貿易（深圳）有限公司

で、華南地域を深圳

が、華東、華北、東北

地域を蘇州分公司が力

バーする。大金裕和総

経理によると、中国市

場は「中国製造20

25」の推進などによ

り、製造業の自動化を

踏まえた設備投資が旺

投資により在庫調整へ
備を提案する。

と転じた」ことから、
需要環境が厳しくなっ

ているという。

用途別販売比率はお

おむね、自動車、スマ

ホ、産機・事務機がそ

れぞれ30%。部品メー

カーも各種モジュール

などの部品実装製品を

ている。引き続き、S

M Tのトータルソリュ

ーションを提案してい

ニアが充実。デモ、技

術セミナーを通じたビ

フォーサービス、アフ

ターサービスで顧客の

モノづくりをサポート

するベストパートナー

が、中には高速、高精

度、柔軟性などを求め

て高付加価値化の要求

もあるという。

ビフォア・アフターサービスを強化

盛だったため、17、18

年と2年連続で好調だ

った。しかし、昨秋か

ら状況が一変した。米

中の貿易問題などが絡

み中国経済が減速。ス

マホの生産に陰りが見

え、その製造設備をは

じめ、工作機械など製

造装置そのものが過剩

生産していることから

納入が増えている。

従業員約30人のうち

約5割がエンジニア。

プリンターやマウンタを

はじめ、検査装置、後

工程を担うロボットま

で、ユーザーが要求す

る生産形態、実装形態

に最適なSMT関連設

中国市場での事業展

開で強味となっている

点について、大金総経

理は「ただ単に販売、

設置するだけでなく、

ビフォア、アフターの

サービス機能を強化し

ている点が、多くのユ

ーザーに高く評価され

総経理」という。

当面の需要動向につ

いては「生産台数は前

年割れしているが、自

動車の自動運転などの

高機能化、x E V化に

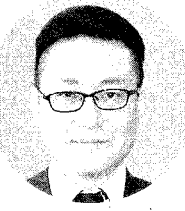
関わる需要は伸びる。

また、第5世代移動通

信に関連した新たな需

要に期待する」（大金

総経理）という。



大金 総経理